

# 山城



木津川

丁寧に綿の種を植える南山城支援学校の生徒たち(木津川市山城町・府立山城郷土資料館)

## 「綿たくさん実って」 南山城支援学校生が植え



綿花を育てて綿製品作りをしている南山城支援学校(精華町山田)高等部の生徒たちが18日、木津川市山城町の府立山城郷土資料館を訪れ、裏山の畑に綿の種を植えた。たくさん収穫できるよう期待を込め、種に土を丁寧にかぶせ

た。同校高等部は5年前から、同校や資料館の畑で綿を育て、収穫した綿で糸を紡いで製品を作り、販売学習を行っている。

今年も高等部1年と3年の生徒計13人が資料館裏山の畑約40平方メートルで作業した。資料館

の職員から手順を教わり、種を3粒ずつまいて土をかぶせていった。10月に収穫予定で、3年光橋侑矢さん(17)は「今年もランチョンマットを作りたい」と話していた。

の職員から手順を教わり、種を3粒ずつまいて土をかぶせていった。10月に収穫予定で、3年光橋侑矢さん(17)は「今年もランチョンマットを作りたい」と話していた。

(逸見祐介)